

樹齢400年のシイガシ

お引越し天然記念物

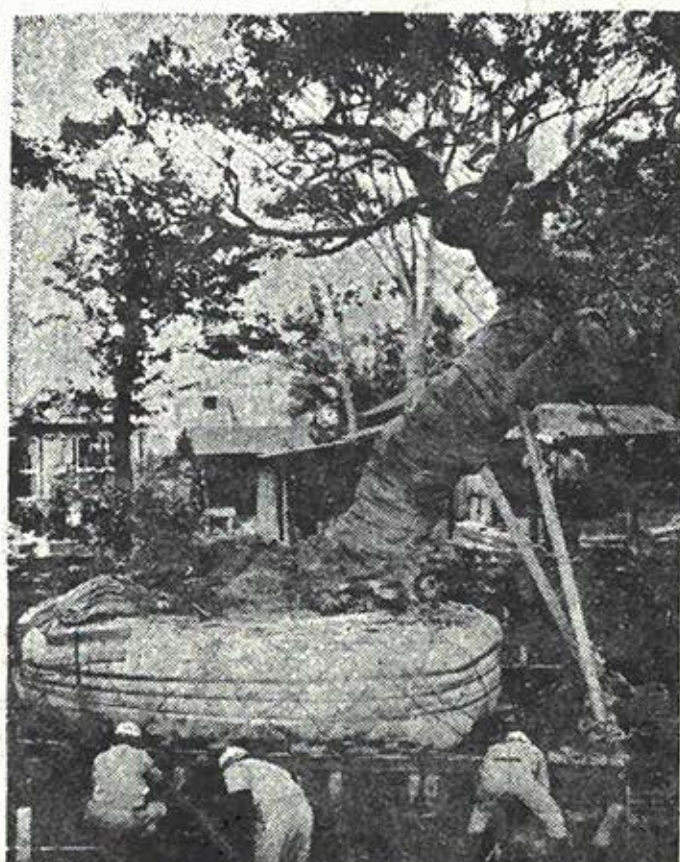
じっと見守る所有者の高山さん

上越新幹線の工事は、いま、急ピッチで進んでおり、それによりなごり遊歩区域内の施設や文化財などの移動も行なわれていますが、桶川市五丁台の高山一さん宅も

上越新幹線の工事は、いま、急ピッチで進んでおり、それによりなごり遊歩区域内の施設や文化財などの移動も行なわれていますが、桶川市五丁台の高山一さん宅も

上越新幹線の工事は、いま、急ピッチで進んでおり、それによりなごり遊歩区域内の施設や文化財などの移動も行なわれていますが、桶川市五丁台の高山一さん宅も

所有の高さ七尺、根回り九・四尺、樹齢四百年を越えるというシイガシの木が二月十八日から二週間ばかりでおまを旨に移動しました。この木は昭和三十五年に桶川市(當時は町)が天然記念物に指定していますが、同市内にかつて武蔵野の雑木林が繁茂する以前に照葉樹林があったことを例証するものとして、専門家からも注目されている名木です。



す。ところが樹齢四百年以上の老木なので移動に耐えられるかどうかの心配もあり、念入りに調査した結果、移動に際してもワイヤーで引っぱらずに、地下に穴を掘ってテコでゆっくり動かすという方

法で、十五人がかりで二週間かけて移動しました。その間、風の日も雪の日もつききりで、じっとこの老木を見守りつづけた高山さんの目が印象的でした。

テコを使って移転するシイガシの大木